

議会だより

No. 100
2018.5.1 発行

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



表紙の作品

毛呂山町フォトグランプリより
題名 『おさななじみ』
いつもの笑顔に感謝。という気持ちで撮影をさせて頂きました。
モデルは顔なじみのお二人です。

撮影者 中庭妙子さん
撮影場所 毛呂山町長瀬

- ・発行 100 号記念企画 2 ~ 3P
- ・平成 30 年度予算概要 4 ~ 5P
- ・今年度はこんな事業が行われます 6P
- ・平成 30 年度予算ズバリここが聞きたい 7P
- ・3 月議会ではこんなことが決まりました 8 ~ 9P
- ・一般質問 10 人が登壇 10 ~ 15P
- ・「町政モニターの声」 16P

読みやすく親しまれる議会報を目指して

今回の議会だよりが創刊より100号を迎えました。創刊は平成5年7月25日。手探りでスタートした広報づくりは、多くの諸先輩編集委員のご尽力と読者皆様の声に支えられ、進化を続けてまいりました。

まだまだ進化途中ではありますが、現編集委員一丸となって、町民の皆様により手に取って読んでもらえる「広報紙」にするよう日々努力しております。そこで、今回「100号記念企画」として発行時の編集委員の方々に、当時の苦労話、思い出等を執筆頂きました。

100号発行にあたり

議長 佐藤 秀樹



平成5年7月に議会だより第一号が創刊され、この度第100号を迎える事となりました。これもひとえに町議会に対する町民皆様のご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。これからも皆様に分かり易い議会だよりをお届けできるよう研鑽を重ねる所存で御座います。これからも議会に對しましてご協力の程宜しくお願いを申し上げます。第100号発行にあたりましてのご挨拶と致します。

四半世紀の時を刻み



平成29年12月99号



平成5年7月創刊号



平成25年5月80号



創刊号編集委員の皆さん

前列中央 木村 重正委員長
 前列左側 岡部 和雄副委員長
 後列左側 長瀬 衛委員



平成10年4月10号



平成20年4月60号



平成15年4月40号

議会だより100号までの歩み

創刊号編集委員長

木村 重止さん

初号の編集発行に携わった者として何か思うところはないかと編集者に問われ、初号より四半世紀、公職を辞してから10年の年月を経過し、記憶も心許ないながら拙文を託す次第です。

素人の紙面作りで、難儀をいたしましたが、広報担当者や印刷会社に教えを乞いながら初号が完成した時は一同達成感に浸りました。

思いつく限り残すことは、一般質問者の名前を出す出さないの議論となり、結論が出ていない状況で委員長として之こそ肝要と、一存で名前を掲載致しましたが、さしてお咎めもなく、先輩議員の寛容に感謝です。

また、決められた字数を超えた原稿が提出された折にはその主張や意見を歪めること無く短文とし、本人の納得を得ることに配慮しました。

益々の充実と発展をお願いし、住民との距離が縮まる紙面を期待しております。

創刊号副編集委員長

岡部 和雄さん



創刊100号おめでとうございます。少子高齢化、人口減少、情報公開など25年前にはあまり馴染みのない行政用語でした。全国の市町村へ視察研修に行くと必ず「議会報」を頂きました。議員間の意見集約を数年かけ議員自らの手で会報が発刊できた感激は、今でも忘れることはできません。

当時私は、議員の一般質問に沿った現地写真を撮影する担当でした。道路拡幅要望の現地写真に御自身の家が写っていた町民の方から、道路拡幅に反対しているように見える写真だと厳しい指摘を受けたことがあり、全戸配布の責任の重さを感じました。

今日地方議会の無投票が顕著です。「議会だより」が議会の情報発信の礎になることと同時に貴紙が有権者に対し私利私欲でなく為政者たる研鑽の紙面となり多くの町民が「町議会議員」を志すきっかけになる広報紙であり続けるように期待します。

創刊号委員

長瀬 衛議員



平成5年の「創刊号」に携わった一人として、第100号の発行に感無量です。何がきっかけで発行することになったのか細かくは覚えておりませんが、期数の若い議員に発行命令が下されたわけです。

勿論、委員全員が機関紙作成など未経験でした。近くの大井町（現在はふじみ野市）の議会だよりが全国でも有名でしたので、大井町にレイアウトや色、校正の手順など一切の手解きをお願いしました。当時はパソコンもなく、2代目の委員長として全ページのレイアウトを1回目の編集委員会までに準備するのが大変苦労でした。

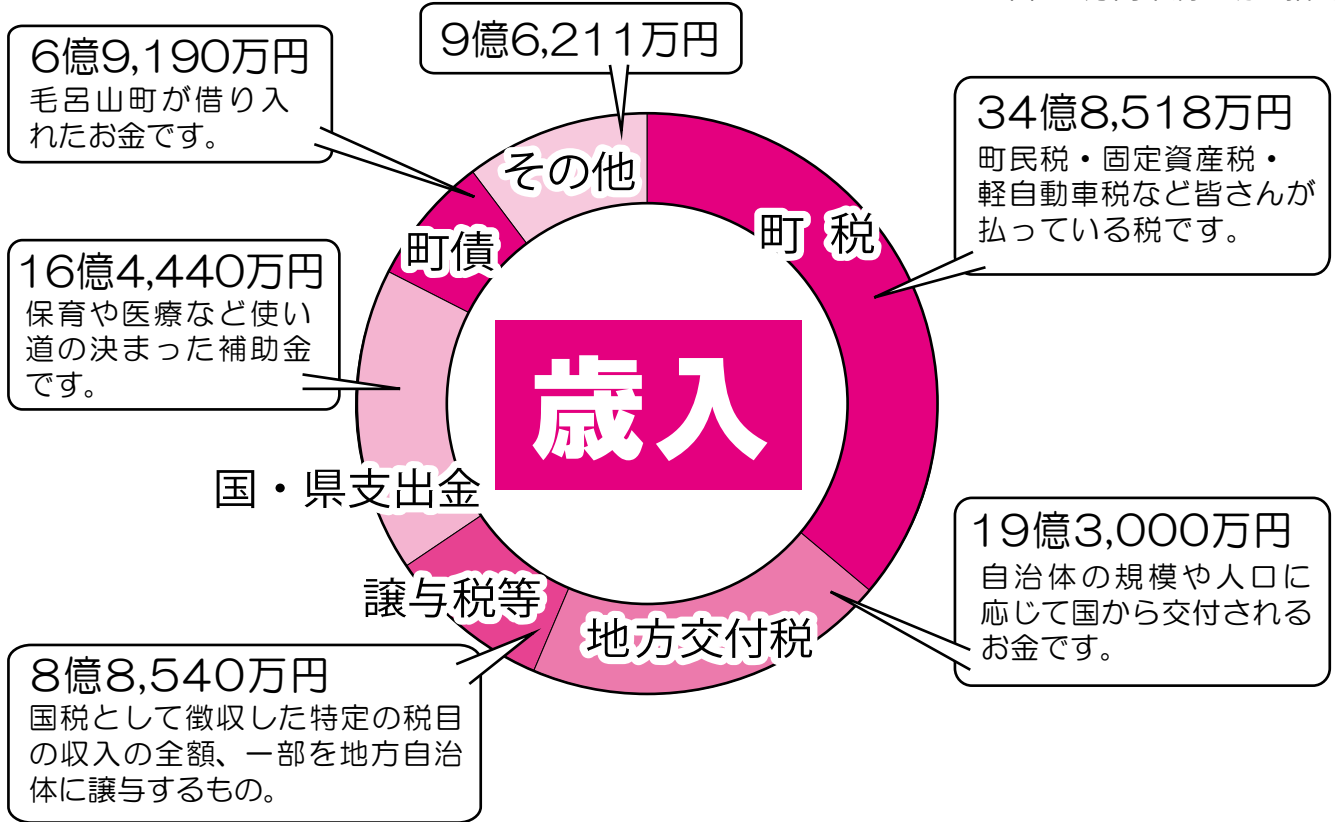
歴代委員の努力の積み重ねとそれに続く現委員の豊かな発想力による第100号です。今後とも町民皆様にとってより分かり易い議会報告を目指してほしい。

95億9,900万円

一般会計（対前年度比2億6,200万円 2.8%増）

3月議会では30年度の当初予算を審議、全ての会計予算を可決しました。

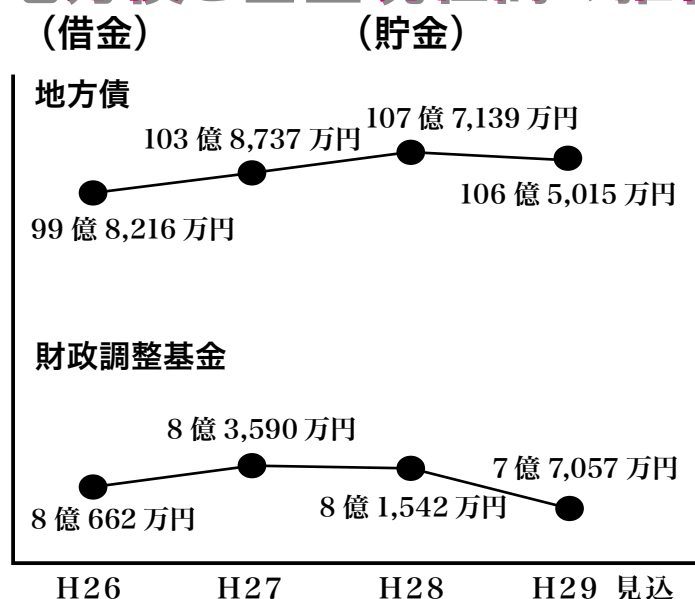
単位：万円未満は切り捨て



貯金の中身

	29年度見込み
財政調整基金	7億7,057万円
公共施設整備基金	2億5,205万円
福祉基金	2億6,976万円
緑の基金	1,496万円
土地開発基金	1億661万円
高額医療費貸付基金	200万円
保険給付費支払基金	1億4,172万円
出産費貸付基金	300万円
介護給付費準備基金	2億5,676万円

地方債と基金現在高の推移



地方債

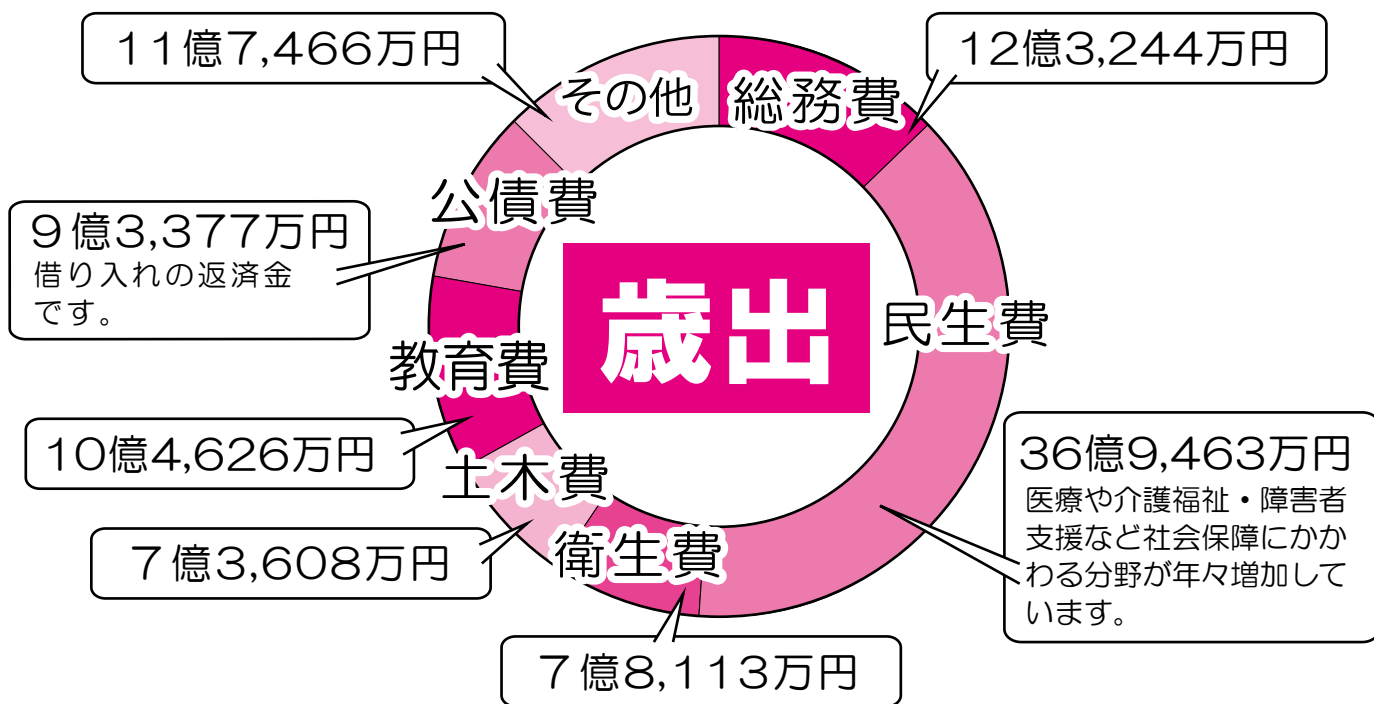
平成29年度末の地方債残高は、前年度と比べ約1億2,100万円減額しているが、この5年間で約11億円増加しており、今後も残高は年々増加することが見込まれる。年度間における財政調整の役割を持つ財政調整基金の残高については、自主財源不足により減少傾向で推移している。

財政調整基金

30年度
予算を
可決

くらしに活かせ

一般会計の内訳(目的別)



特別会計予算

	30年度	前年度比較
国民健康保険特別会計	42億6,288万円	▲9億6,166万円
水道事業会計	12億2,498万円	▲1,480万円
農業集落排水事業特別会計	3,565万円	689万円
介護保険特別会計	22億785万円	104万円
後期高齢者医療特別会計	4億2,548万円	4,771万円

国民健康保険特別会計… 医療保険制度の基礎的役割を果たしています。安心して医療を受けられるようにするために使われる予算です。

水道事業会計… 日常生活に欠かせない生活用水を安全供給するための予算です。特に老朽管の布設替えおよび老朽施設の改修を積極的に行います。

農業集落排水事業特別会計… 農村地域の生活向上を図るために汚水の処理を行います。現在は、主要な処理施設の建設が終了し、施設維持管理費用が中心となっています。

介護保険特別会計… 介護や介護予防を必要とする人が安心して生活を送れるように、総合的な介護サービスを行うために使われる予算です。

後期高齢者医療特別会計… 高齢者が安心して医療が受けられるように制度の維持、運営に使われます。

児童館に トランポリン購入

《 62万8千円 》



老朽化した遊具を交換します

川角駅周辺地区 整備事業

《 2,418万4千円 》



駅周辺整備のための設計業務委託
と看板設置をします

30年度
予算で



こんな事業が行われます！

町民レクリエーション大会 テント等設置委託料

《 120万円 》



各行政区のテントを設置します

空き店舗利活用創業 チャレンジ支援事業

《 300万円 》



空き店舗を活用し新たに事業を
始める方を応援します

橋梁点検業務 委託料

《 1,794万3千円 》



橋梁の安全点検を実施します

川角小学校内学童保育所 整備工事实施設計業務委託

《 194万円 》



校内に学童保育所を造る
準備をします

30年度予算 ココが聞きたい!

川角駅周辺地区 整備事業

委員 川角駅に設置する看板は、どのような内容になるのか。

課長 現時点で詳細は決まっていないが、事業の概要について考えている。

委員 看板を出して、この事業が進まなかったら町のイメージは大きいと思う。看板の内容はよく精査して欲しい。

課長 看板の内容は決定的なことは当然書けないが、事業計画などを掲載して周知していきたい。

町民レクリエーション大会 テント等設置委託料

委員 テント等委託料はどのような経緯で予算計上されたのか。

課長 大会準備委員会及び反省会で、テントの設営と選手の確保が困難であることから参加を辞退したいという意見があった。選手の確保については、プログラムの編成委員会で検討し、テントの設営については、業者に委託することで町

民の負担が軽減され、安全性の向上も図ることができる。

児童館トランポリン 購入費

委員 児童館としての最低限の遊具の設置条件はあるのか。

課長 児童館は、子供たちが遊ぶスペース、屋外には遊具等が完備されている。今まで使用していたトランポリンの老朽化に伴い予算を計上した。子供たちの発育や身体能力などを育てるためにも必要な設備である。

橋梁点検業務委託料

委員 どのような橋梁を点検するのか。

課長 橋長が15メートル以上または1、2級の町道にかかる橋、跨線橋、歩道橋で松貫橋、宮下橋、伊予田橋、上宿橋など34橋を予定している。予算が毎年かかると思うが今後の予定は。

課長 道路法施行規則が改正され、5年に1度、近接目視による点検が義務付けられた。平成30年度に予定している34橋は重要な橋として位置付けている。町の財政負担などを考えると職員で行うことも検討しなければいけない。

川角小学校内学童保育所 整備工事実施設計業務委託

委員 中学校区域に小学校を統合するという検討結果が提出されている中で、どのような考えで川角小学校内に学童保育所を設置するのか。

課長 川角学童保育所の定員の問題や川角小学校と川角学童保育所の距離の問題が喫緊の課題である。

委員 厳しい財政状況と人口減少という形で小学生の数も減っていく中で将来的なビジョンがある程度出てきている。川角学童保育を増築する考えはなかったか。

課長 公共施設等総合管理計画など、総合的に考え川角小学校内に学童保育所を整備したい。

3月議会

補正予算、条例の改正で こんな事が決まりました

平成30年3月議会は、3月1日から19日までの会期で開催されました。今議会に提案されました案件は条例の制定1件、条例の一部改正16件、規約の変更2件、補正予算5件、当初予算6件、町道の路線の認定廃止各1件、人事4件、合計36件です。

なお、一般質問は10名が登壇し、活発な質問が展開されました。

条例の改正

区長は町の非常勤職員、戸数割は一戸当たり600円

(全員賛成可決)

【内容の説明】

各行政区の区長を非常勤職員と位置付け、手当については世帯数別均等割及び戸数割(一戸当たり600円)とするものです。

また、社会教育指導員の報

酬については月額12万円を13万円に改めます。
施行は平成30年4月1日。



町レク、夏祭りと区長さん大忙し!

介護保険料200円アップの4340円! 年額では5万2千円

(賛成多数可決)

【内容の説明】

3年に一度、改定される介護保険料。所得区分を9段階から12段階に改め、介護給付費準備基金から半分以上の1億2900万円を繰入れ、介護保険料の月額を200円引上げ4340円と設定しました。なお、保険料基準額は年額4万9600円から5万2千円となります。

企業誘致促進条例を改正します。奨励金10年を3年間へ!

(全員賛成可決)

【内容の説明】

毛呂山町は、町内に進出する企業に対して優遇制度(毛呂山町企業誘致促進条例)を定めてきました。内容は「誘致企業に固定資産税相当額の1/2を10年間、奨励金として交付する」もの。

しかし、今後は奨励金の10年間を3年間に縮小します。なお、新たな施策として町に住所を有する町民を正規職員として1年以上雇用した企業に1人30万円を交付することになります。(初年度のみ)



補正予算

学校給食センターの厨房機器を10年間リースで大幅に更新します!

(全員賛成可決)



学校給食センターの各種厨房機器

【内容の説明】

オール電化の毛呂山町学校給食センターも稼働を開始してから、12年目となります。

近年では修繕費が高むことや度々の業務に差し支える等考慮して、10年間のリース契約で大幅に更新します。

■契約内容は、洗浄機、各種冷蔵庫、連続フライヤー等、13機種19台の入れ替えです。

国保、議員報酬をめぐる討論！

国保（国民健康保険）の広域化（県単位化）とは何か。4月からスタートする新・国保。今回の「制度改定」で、果たして町民の健康はどう守られるのか？

地方議員のなり手不足の中どう議会活動を活性化させるのか！議論の内容・方向性を追跡した。

【条例の改正】議員報酬の改正について(賛成多数可決)

反対します

下田泰章議員



来年度に向け財政調整基金を切り崩し、非常に厳しい予算編成が行われている。

国の方針のもと議員手当を引き上げるといった条例改正に従うのではなく、自分達の町の財政状況や民意にたって物事を判断することが議員の責務である。

【平成29年度】一般会計補正予算(賛成多数可決)

賛成します

弓田茂樹議員



先の議案第2号で、議員報酬増額の条例改正案に反対を示された方がいた。しかし補正予算の中には全14名の増額分が計上されています。真意に増額を望まないのであれば修正案の提出等が有ってもよいが、未だ無い以上、本件補正予算自体を反対するものでは困る。

【特別会計】平成30年度毛呂山町国民健康保険特別会計予算 平成30年4月から、国保が県と町の共同事業になります！（賛成多数可決）

反対します

牧瀬 明議員



国保運営が県単位になっても構造問題は解決していない。国保への国庫支出金割合を83年に戻すべき。国保税の均等割も課題で子どもへの均等割を無くせば子育て支援になる。均等割は被用者保険ではなく、協会けんぽでも所得割6%弱のみ。

反対します

岡野 勉議員



新年度からの広域化（県単位）は一般会計からの繰入金増額、均等割額（一人当たり33,000円）の引下げの絶好のチャンスでした。しかし、このチャンスを活かし切れず国保税の軽減、多子世帯・子育て支援を見送り残念です。全国55%の自治体が減額したが。

毛呂山町国保の現状

- 1、国保被保険者の状況
平成29年 9862人
平成28年 1万470人
- 2、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及
平成28年 72.8%
平成27年 68.3%
- 3、寿命の状況
平成27年の平均寿命は男性79.33歳、女性は85.33歳となっており県平均より低い。
- 4、特定健康診査受診率
平成28年度の特定健康診査の受診率は47.6%で、県内市町村平均38.9%を上回っています。
- 5、法定外繰入金（一人当たりの繰入金）
毛呂山町 1014円
県平均 1万7564円

※安定した国保運営を図るため、町の一般会計(公金)を国保会計に投入するもの。

●議案の審議結果（3月定例会）

○は賛成 ×は反対 議は議長

議案 議員	平成30年度当初予算				平成29年度補正予算			町道の廃止、認定	条例の制定・改正						人事		規約の変更2件	
	一般会計	介護保険、後期高齢者	国民健康保険	水道事業、集落排水	一般会計、国民健康保険	介護保険、後期高齢者	水道事業		介護支援等新規条例	議員報酬条例の改正	介護関係4件の条例改正	個人情報保護、国保関係2件、等条例改正	町長・副町長・教育長の給与	学校設置条例改正	職員給与、特別職職員報酬等	企業誘致、都市公園条例改正		障害者医療費、後期高齢、
下田 泰章	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
平野 隆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
澤田 巖	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牧瀬 明	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
弓田 茂樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
荒木かおる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉三津子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
村田忠次郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡野 勉	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小峰 明雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
高橋 達夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長瀬 衛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
堀江 快治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐藤 秀樹	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議

一般質問

町政を問う! ~10人が登壇~

- 協働による町づくりに向けて
- 消防団準中型、中型免許取得
- 町が考える流鏝馬祭の位置付けとは 下田 泰章

- AEDの活用
- 町の適正規模 澤田 巖

- 井上町政の現状
- 通学路
- 運転免許自主返納
- 鶴舞橋の安全対策 平野 隆

- 給食センターの将来
- 遊休農地(耕作放棄地)の現状 村田忠次郎

- 教育・子育て環境の充実
- 地域間交流
- 地域福祉の充実
- 健康増進の推進 小峰 明雄

- 平成30年度予算の着目点
- 毛呂山町適正化計画 高橋 達夫

- 中央教育審議会の「中間まとめ」 牧瀬 明

- 政治倫理条例に対する町当局の対応と町政の信頼 長瀬 衛

- コミュニティ・スクールの導入に向けて
- 通学路の安全確保 千葉三津子

- AEDの設置箇所
- 町内中学校の制服
- 子育てワンストップサービス 荒木かおる

※一般質問は、主な質問と答弁の概要を本人が編集しています。

「協働の町づくり」町民の意見はどのように反映される

【答】住民意識調査やパブリックコメントを実施する



下田 泰章

意識に変化を促すことは可能である。インターネットを活用して住民と行政をつなぎ、幅広い世代の意見を吸い上げる自治体PRMの取り組みについて町の考えを伺う。

【問】 住民意識調査を行うにあたり、人口の減少や経済的な衰退といった町の厳しい現状を伝える事も大切である。設問の観点や視点を考える事により、町民

【答】 町が直面している課題や状況などを適切に住民に情報提供し、行政施策に反映させていく事が協働の町づくりの基本となるものと考ええる。設問内容や自

治体PRMを参考に的確な行政ニーズの把握に努めて参りたい。消防団準中型、中型免許取得について

【問】 国では、地方自治体が準中型免許取得に対する経費に助成を行った場合、助成額の一定額割を支援する事を決定した。町の対応を伺う。

【答】 準中型・中型・AT限定解除にかかる費用の1/2(上限10万円)を補助する予算を計上した。

【問】 町が考える流鏝馬祭の位置付けとは

【答】 「観光の核は流鏝馬」と位置

置付け今後、町の誇るイベントとして確立し支援するお考えがある中で、伝統文化の継承と観光事業をどう融合させるのか。

【答】 PR活動やイベントの開催、来場者の為の環境作りを側面から支援し、国の無形文化財の指定も視野に入れ、講座など啓発活動を展開して参りたい。

【問】 流鏝馬を行う上で、金銭的負担が生じる各地区への支援に対する町の考えは

【答】 後継者育成にかかる経費の助成金活用を進める。

井上町政の現状は

【答】順調である



平野 隆

【問】 2期目の3年間を通し井上町政の成果と実績について伺う。

【答】 政策・公約については、1期目からの継続事業に加え、すぐに・2年以内・継続的に成果

をお見せするものという項目に分けており、実現に向けて町政運営に取り組んできた結果、8割から9割近くにおいて町民皆様との約束を達成することができた。

【問】 これからの町の重要課題について伺う。

【答】 ソフト面では、人間関係のコミュニケーションを構築できる働きかけを重んじ、ハード面では

川角駅周辺地区整備事業、森戸橋架け替えに伴う西大久保地区の交差点改良などを進めていく。通学路について

【問】 学校の通学路で危険な経路はあるか。

【答】 通学路は、安全性に配慮して指定されているが、中には路側帯がないなど、改善が求められる箇所もある。

【問】 危険な通学路の安全対策を伺う。

【答】 5年に1度、学校・保育園・幼稚園等に通学路の安全点検をお願いし、通学路整備計画を策定している。

運転免許証自主返納

【問】 本町における自主返納の状況と取り組みを伺う。

【答】 自主返納者は年々増加傾向にある。また、運転経歴証明書を提示することで、もろバスに1年間無料で乗車することができる。

鶴舞橋の安全対策

【問】 長瀬地区にある鶴舞橋は幅員が狭く、過去に事故が発生しているが、安全対策を伺う。

【答】 視線誘導表示やガードパイプなどの安全対策が講じられている。



整備が待たれる川角駅



全ての意見が見える化できる自治体やPRMの活用を!

29年度、開始した新3学期制は

保護者からは、よい評価を受ける



小峰 明雄

問 毛呂山小の校舎天井工事・毛呂山中の体育館改修工事設計・川角中の体育館大規模改造工事等を実施。元気のある学校づくり委嘱事業・学力向上パワーアップ事業等に取り組む。

答 平成29年度の少子化対策・子育て支援対策のご所見は。

問 児童手当・子ども医療費支給・不妊治療費助成・不妊検査費助成等実施。子育て世代包括

支援センターを開設し、妊娠・出産・子育ての相談業務を実施。

問 県の彩の市町村愛着連携事業は、新しい人の流れや地域振興を展開していく事が主眼点と考える。本町でも人口減少問題が重要課題である為、地方創生の取り組みの中でも町として、積極的に行動を起こす必要があると考える。本町には、大学病院・くらしワンストップもろハピネス館などの医療と福祉のまちづくりを目指す上で、魅力ある施設が存在する。今後、東京23区との地域間交流が、生涯活躍のまち構想に繋がると考えますが、

ご見解は。

答 進めていきたい。

問 第4期障害福祉計画は今年度末終了。評価改善は。

答 自立には、就労に必要な能力開発の支援と受入企業の開拓、雇用促進に努めていく必要があると考える。

問 第6期高齢者総合計画今年度末終了。評価改善は。

答 医療と介護の連携の要となる相談拠点を、くらしワンストップもろハピネス館内に設置し、住民や医療・介護の関係者からの相談に対応できるようにした。

中央教育審議会の「中間まとめ」について

図 学校における教員の働き方改革



牧瀬 明

問 16年6月と11月での調査で小学校で10時間16分、9時間58分。中学校で10時間54分、11時間2分と、全国平均より若干低くなっています。

答 「中間まとめ」では、教員の長時間勤務は正のため業務仕分けをしています。教員が授業準備と子ども向き合うことに集中できるようにしていくことが課題だと思えます。

問 16年の全国教員勤務実態調査で、教員の勤務時間が平日平均12時間と、06年の実態調査の11時間22分よりも伸びていますが毛呂山町ではどうでしたか。

答 授業準備、授業改善のための教材研究、子どもに寄り添い向き合う時間を十分に確保することは望ましい学校のあり方と考えます。しかし、生徒指導、保護者対応、各種調査等、教員の業務は多岐に渡り、教員の長時間勤務の要因の一つになっています。

問 教員の長時間勤務の要因に学習指導要領の改定で02年に比べ11年は授業数が278増えているが、それに見合う教員を政府が増やさなかったこと。日本教育新聞は全国市区町村教育長にアンケートを行っていますが、

答 教員定数増が圧倒的に多い。それについてはどうですか。

答 教員は高い専門性、幅広い業務、事務を担っていますが現状は限界も見えてきています。学校における働き方対策として教員定数増をアンケートに参加した教育長の97%が望んでいることは私も理解できます。

埼玉県教育長会、同教育委員会又全国市町村教育長会等を通じ、学級編成基準及び教職員定数の改善を国に強く要望しています。

教員の勤務時間 1日7時間45分

授業時間 1時限は小学校45分 中学校50分
授業準備 授業1時間につき約1時間(国の考え)

小学校の場合

1日4時限とすると

授業時間は(45分)×4時限=180分=3時間…①

授業準備時間は3時間…②

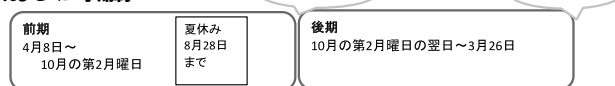
①+②=6時間

7時間45分-6時間=1時間45分

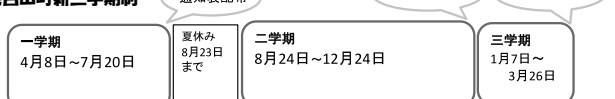
(生徒と向き合う時間 他)

現在の毛呂山町の小中学校の時限数は、5~6時限/日となっている。

これまでの二学期制



毛呂山町新三学期制



(H29年度は4月10日から)

(H29年度は12月22日まで)

(H29年度は1月9日から)

児童生徒の学力向上、更なる充実を

コミュニティ・スクールの導入を！

積極的に行うプロジェクトを推進しよう



千葉三津子

問 子供もたちの未来の創造に向けて、地域に開かれた学校づくりを推進して行くための仕組みとして「学校評議員制度」があり、地域と共にある学校づく

問 子供もたちの未来の創造に向けて、地域に開かれた学校づくりを推進して行くための仕組みとして「学校評議員制度」があり、地域と共にある学校づく

問 子供もたちの未来の創造に向けて、地域に開かれた学校づくりを推進して行くための仕組みとして「学校評議員制度」があり、地域と共にある学校づく

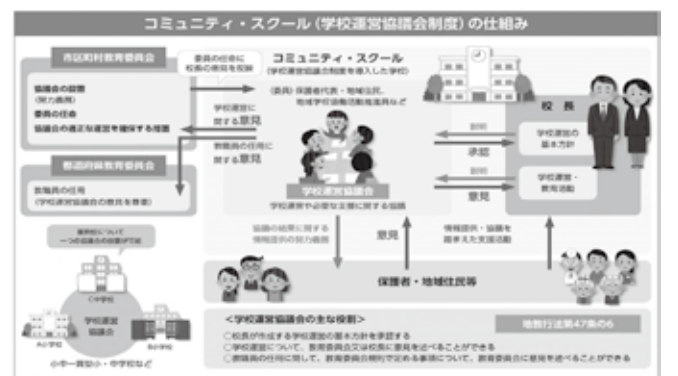
問 高年齢化社会に伴い、学校評議員や学校応援団コーディネーターの引き受け手が不足しているが、多くの地域の方々に学校を理解頂くために、地域に広く公開し、拓かれた学校づくりを行うことだと考えている。

問 通学路安全検討委員会の設置状況と内容を伺う。

問 点検後の緊急な対策は。随時、必要に応じて道路を所管する関係機関に対して改善要望を行っている。

問 地域と共にある学校づくりとあるが具体的な施策を伺う。

問 歩道や路肩、沿道の繁茂した雑草による安全対策は必要と思うが如何か。



多くの価値を持つコミュニティ・スクール(文科省資料)

3町合併は自治体の経費削減に繋がる

将来像と合併のメリットの共有が必要



澤田 巖

問 平成の大合併で近隣では大きな動きはなく、人口減少が進み財政状況もより厳しくなる。自治体間競争にも打ち勝つていかなくてはならない。合併の気

問 平成の大合併時には特例債もあり、現在ではそれがなく合併のメリットが見えづらくなっていると考えている。

問 毛呂山町と近隣2町の3町が合併した場合、約6万人の人口となり、『市』になる条件・規定された要件をクリア出来る。近隣では日高市が5・7万人で参考となり、日高市の議員数は

問 18人、3町合併案では議員数は38人、倍以上の人数である。役場職員を減らす事は出来ないが議員数を半分に減らすことは出来る。1年間で約1億円は経費削減できる。3町は消防・下水道・斎場など組合が共通である。

問 3町で一番人口が多いのは毛呂山町であり、2町は吸収される形になり受け入れがたいと考える方が多いように感じる。

問 子育て講演会で「いのちの教室」の中で小学校高学年段階でのAEDの必要性について同感したが。

問 3町は一部事務組合も一纏、生活圏も一致しているため合併に向けての壁は高くは無いように考える。少子高齢化による人口減少が進む中、合併によるメリッ

問 自治体の生命を守ることは学校教育の根幹。学校環境等検討委員会で検討している「地域をつなぎ『いのち』輝く日本一の学校をめざして」として計画している。実技を通じた教育が出来るように指導していく。

人口減少 + 経費削減 → 合併は必然

遊休農地(耕作放棄地)の現状について

農業者の担い手、後継者の不足が一番の課題



村田忠次郎

問 地権者が相続などの関係で地元に住んで、耕作も管理もされていない農地においては、町はどう対処しているのか。

答 地権者の意思を確認した上で、管理の難しい農地に対しては農地の斡旋等により担い手への農地の集積を推進している。

問 今後いかにして遊休農地を減らすのか、町の施策を伺う。

答 今後の農業事情を考えると、農業の担い手、後継者の不足が

一番の課題と考えます。このようなか、新規就農者の確保や育成を行う為に、関係機関と協力しながら、研修圃場(びんぼ)地や指導者

の紹介、就農にかかる資金補助制度の周知等支援を図っていきます。また、将来の農地利用の在り方を示す「人、農地プラン」を活用し、地区の農地の現状を踏まえた上で、地区合意のもとに担い手を確保し、農地の集約等を積極的に勧め、いく事が今後の農地利用推進を図る上でも大きな方策であると考えております。

給食センターの将来は

問 小・中学校の児童生徒数は年々減少しており、給食センターも「将来の在り方」を考えておく必要がある。莫大な経費を

かけて建設した給食センターの活用策を伺う。

答 文部科学省の補助金により建設したため、公立の学校以外には使用できない規制があります。

問 東京都調布市では児童と高齢者の交流の一環として、ふれあい活動の後、学校給食と一緒に食べるということですが、当町でもそのような事業はあるか。

答 高齢者支援課では、世代間交流事業を毎年実施しており、活動終了後、給食と一緒に食べる内容です。

平成30年度一般会計予算編成の留意点は

費用対効果の観点から優先順位に基づき事業選択を行った



高橋 達夫

問 平成30年度予算編成にあたり特に留意した点は。

答 平成30年度予算編成については限られた財源の中、費用対効果の観点から優先順位に基づ

く事務事業の選択を行った。特に町の重要課題である少子高齢化対策や公共施設の老朽化対策として、生活道路の整備や時代を担う子供達の教育環境の整備等に重点的に予算配分した。

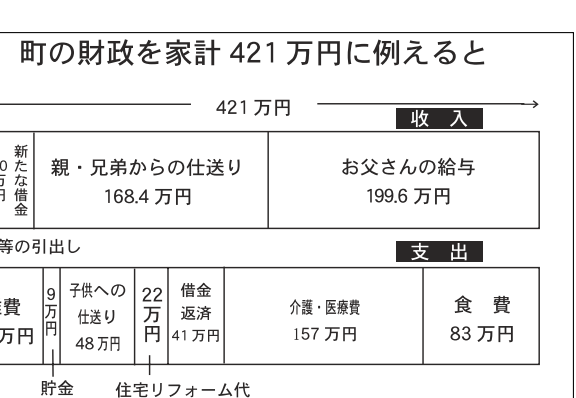
問 歳入における町税、基金起債について本年度特に着目すべき点は。

答 町税は約34億8千万円前年度より約6千万円、率にして

1・7%減額している。基金については財政調整基金から2億5千万円、公共整備基金から9千万円繰り入れている。起債については事業債として2億3千万円、臨時財政対策債については4億6千万円を借り入れている。

問 先日の読売新聞に県予算総額を家計に例え、平均的一般家庭の家計費421万円を表していた。町の予算95億9千万円を平均的一般家庭の家計費421万円を表すとお父さんの稼ぎは幾らか。

答 町税をお父さんの給与として表すと199万円になる。家計費が421万円必要なのに、給与が199万円しかない。町の財政は非常に厳しい状況だ。本年度の歳入において町税が1・7%減額している原因は。



町の財政を一般家庭に置き換えたグラフ



活用されていない農地

下水道工事で指名を見直した2親等内企業が落札した

指名しないと差別的になるので見直しを指示した



長瀬 衛

最高責任者は誰なのか。

町長が署名しなければならぬ。それにより条例が確定し、効力が生じる。

「政治倫理条例は議員が作ったもので、町執行部からのものではない」との答弁だが、誤解を生む。広告式条例の規定に基づき政治倫理条例を公布する

町長は、12月議会で「入札に当たって契約は私で、入札と契約は違う。町民は誤解している」と発言したが、責任逃れに聞こえる。指名選定の最高責任者は誰なのか。

事務決裁規則では、300万円以上の指名は町長の決裁である。

昨年、町民に公表された政治倫理審査報告は、議員関係企業に対してどのような判断を下しているのか。

努力義務に違反している。

木屋平村の最高裁判例により訴訟リスクが生じるとあるが、村が理由もなく、恣意的に排除したため敗訴した。まったく比較外の事件だ。木屋平村では2親等規制が争われた事件だったのか。

2親等規制についての判例ではない。

最高裁が、2親等規制は憲法違反ではないと判決した。いかなる事情でも2親等内企業の辞退届未提出は義務規定違反だ。入札制限(排除)することは憲法違反ではない。これからも辞退届を出さなければOKだということ特定企業に奨励していくのか。

今後、法令、判例を遵守し、執行していく。

下水道工事入札で指名を見直すよう指示したか。

指名しないと差別的になるので見直しを指示した。

制服の価格差の解消を

研究して参りたい



荒木かおる

4730円です。

町内の2校で女子の制服を比較すると2万4千円もの差が生じている。以前にも金額の格差の解消について質問した経緯があるがその後検証はされたか。

町内中学校2校の入学時にかかる費用は。

毛呂山中男子6万2618円、女子6万8234円。川角中男子5万690円、女子4万

現在、制服について、両校においてPTA本部会・運営委員会、学校評価、保護者会等において、意見や要望は出ていない。今後とも、保護者の負担軽減

減の視点についても研究して参りたい。

アンケート等で全保護者に意見を聞き調査して頂きたい。

AED設置個所

現在本町の小中学校では屋内にAEDが設置されており、休日・夜間に体育館やグラウンドで活動するスポーツ少年団やスポーツ団体は緊急時にAEDの使用が不可能。屋外に設置はいかがか。

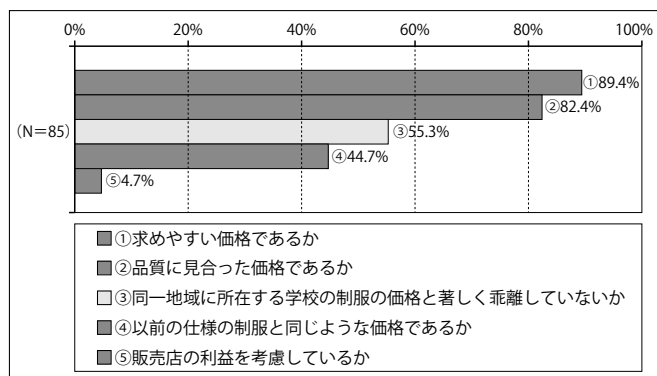
各小中学校に設置のAEDは職員室や保健室に置いてあるため夜間体育館の利用者は使用が不可能。今後、AEDの運用

や増設等について検討して参ります。

子育て支援

政府は子育てサービスとして申請手続きの軽減を図るため、24時間どこでも申請できる子育てワンストップサービスという仕組みを作ったが本町ではいかがか。

現在本町の子育てワンストップサービスはオンライン申請が可能。オンライン申請については平成30年度の早い時期に対応する予定で準備している。



学校が制服の販売価格の決定に關与する際に重視する点



指名見直しが行われた毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

人事

副町長

加藤 勉 氏

昭和28年7月生
毛呂山町岩井西

教育委員会委員

清水 宅郎 氏

昭和27年12月生
毛呂山町下川原

固定資産評価審査
委員会委員

小峰 裕次 氏

昭和31年9月生
毛呂山町岩井西

農業委員会委員

波田 二三雄 氏

昭和22年6月生
毛呂山町葛貫

渡邊 五十男 氏

昭和18年9月生
毛呂山町市場

浅見 秀治 氏

昭和19年7月生

毛呂山町西戸

大野 謙一 氏

昭和36年11月生

毛呂山町阿諏訪

小川 収一 氏

昭和30年3月生

毛呂山町岩井

岡野 鈴代 氏

昭和28年12月生

毛呂山町西大久保

議会議務局長

岡田 忠彦

前 会計管理者

お詫びと訂正

①12月議会の高橋・弓田両議員の一般質問に実名発言があったため、当事者の意を尊重するつもりで、発言の一部を議長独自の判断で消去して放映してしまいました。正確な放映をしていなかったことを町民の皆様、両議員にお詫び申し上げます。議長 佐藤秀樹

②99号の10頁、岡野議員の一般質問中3段目に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤 西坂戸団地の公共下水道により改善したと思う。

正 比較的汚れの少ない数値が維持されているが、引き続き調査を継続する。

町政モニターの声

住民福祉向上の重点指向へ

作本 孝さん



毛呂山町も抱える少子高齢化問題。

社会保障の充実や、多様な生活形態のある中での町民本位の施策など、様々な課題が

山積しています。限られた予算の中で、そのすべての施策を行うことは難しく、実現までにはかなりの時間を要します。そこで何よりも先ず、ここ毛呂山町での暮らしに、町民一人ひとりが幸せを実感できるよう住民福祉向上の増進に絞った取組みを期待致します。そのためには我々町民自身も、どう町に参画し寄与していけば良いか、共に考え歩んでいくことが、町民一体となった町づくりの基本であり、最も大切な事と考えます。どうか町民の目線に立った町づくりを、町長はじめ町議員の皆様切に願い、心よりのご奮闘を祈念致します。

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
3月 1日(木)	1名
3月 2日(金)	17名
3月 5日(月)	16名
3月 6日(火)	32名
3月 7日(水)	1名
3月19日(月)	3名
計	70名

あとかぎ

平成5年の議会だより創刊より25年が経ち、100号を迎えた。この25年間で町の人口は4千人減少している。

来年5月には平成から新元号に移行。消費税も上がる。時代と社会は日々変わっていき、今後どう対応していくのか国民全体で真剣に考えるべき時になった。願っている物事は好転せず、限りある時間の使い方が次第で町の将来は大きく変わっていくだろう。

議会の動きを町民に伝える重要な役割を担う「議会だより」、発行数を重ねる度に毛呂山町が一步一歩前進し、時代の変化に対応できる町になるよう執行部と共に研鑽していきます。毛呂山町議会にご声援ください。

編集委員

委員長 下田 泰章
副委員長 荒木かおる
委員 平野 隆
澤田 巖
千葉三津子
岡野 勉

アドバイザー

(議長) 佐藤 秀樹